

る、皮膚炎群でも半数以上が施術を受けたことがあり、健常者群に比べて健康被害を受ける割合が多いことが判明した。(健常者群 10%皮膚炎群 44%) 利用者側から施術時に皮膚過敏であることを申告すべきであるが、施術者が利用者の皮膚質を把握して臨機応変に施術を選ぶことができれば健康被害は防止できるかもしれない。

また昨年同様エステティックの手技による皮膚機能について機器測定を用いて検証を行い、本年度は能力差(実務経験 20 年以上と 1 年未満)のある技術者で実施したが両社での変化はなく悪影響もなかった。美容機器のヒートマットは、電熱線による温熱作用を使用して血行を促進、発汗を促す目的で使われ、施術による熱傷が報告されている。今回は、通常的使用方法として 10 分間の温度変化を測定したところ温度上昇は軽微であった。痩身施術で発汗目的に 60℃まで温度が上昇する機器もあるので、長時間の発汗施術による熱傷の危険性があることは啓発の必要がある。

E. 結論

エステティックの施術は全国で年間のべ 1,000 万人以上の利用者が施術を受けていると言われている。施術の安全性は、これまで検証した手技や機器、化粧品について通常の手順や使用方法では、健康被害につながる可能性は少ないことを啓発していく。顧客の要望により通常の手順を逸脱、あるいは心身の健康度を無視して過剰な施術プログラムを組んでしまうと皮膚障害が発生しうることを可能ならば実証例をあげて啓発していきたい。今後さらに機器や手技、化粧品について検証を行っていく。

また、報告されている健康被害^{1)~4)}では、被施術者に皮膚過敏性素因、末梢神経・血管障害のリスクを持つ場合があり、健常人では問題がない場合でも健康被害につながっていることが考えられる。本来エステティック施設は、健康な人を対象に癒しを提供する施設であるが、慢性疾患やアトピー性皮膚炎、アレルギーを持つ消費者も利用している。健康被害を防止するためには、個々の施術の安全性を検証していくとともに、社会が高齢化していくにつれ、慢性疾患やアレルギーなど健常人より健康被害のリスクが高いことを感じながらも癒しを求めてエステティックを受ける場合が増える可能性もある。施術者教育として被施術者の心身健康度を把握する問診票を提供し、加えて脆弱皮膚の扱い方に関する基礎知識が得られるような啓発教育をすべきと考えている。

F 健康危害情報

なし

G 研究発表

なし

H 知的財産権の出願・登録状況

なし

参考文献

- 1) 玉田伸二：いわゆるエステティックサロンで受けた脱毛術後の後遺症 46 例の検討：日臨皮 46；271，1995
- 2) 篠田 勸・他：エステティックによる民間療法施行中に重症感染症を合併したアトピー性皮膚炎の 1 例_：皮膚臨床 39；

615-618,1997

3) 竹原和彦：疫学調査に見る動向 アトピー性皮膚炎不適切治療健康被害実態調査：臨床と薬物治療 23；101-104,2004

4) 河原理子・他：エステ脱毛による熱傷症例の経験，日本美容外科学会会報 27；259, 2005

慢性疾患患者に対するアンケート調査票(アトピー性皮膚炎患者)

厚生労働科学研究費補助金において「エステティック施術による身体への危害について原因究明及び衛生管理に関する研究」を行う事となりました。つきましては、皆様にエステティックに関する以下のアンケートにご協力いただきたくお願い申し上げます。なお、今回のアンケートは、お名前、住所等をご記入いただくことはなく、結果も集計し使用させていただきますのでご安心ください。

研究代表者 関東裕美

Q1 性別

男	女
---	---

 Q2 年齢

才

Q3 ご自身の皮膚症状についてあてはまるものに○をお願いします。

SQ1 皮膚の重症度

①重症	②中等症	③軽症
-----	------	-----

SQ2 なぜそのように思われているかあてはまるものに○をお願いします。

①治療しても治らないから	②範囲が広いから
③顔中心だから	④治療すると軽快するから
⑤セルフコントロールが出来るから	⑥範囲が狭いから
⑦その他 ()	

Q4 エステティックについてあてはまるものに○をお願いします。

SQ1 エステティックの施術を受けたことがありますか？

①NO

 Q5にお進みください。

②YES

 以下の質問にお答えください。

SQ2 受けたことのあるエステティックの施術すべてに○をお願いします。

①フェイシャル	②ハンドマッサージ	③ネイル
④痩身エステ	⑤脱毛	⑥その他 ()

SQ3 エステティックの施術を受けた時「かぶれた」等のトラブルがありましたか？

①NO

 Q5にお進みください。

②YES

 以下の質問にお答えください。

SQ4 どんなトラブルでしたか？あてはまる項目すべてに○をお願いします。

①かぶれ	②やけど	③じんましん
④にきび	⑤シミ	⑥その他 ()

SQ5 トラブルがあった時の対処はどうしましたか？

①エステティックサロンから医療機関を紹介されて受診した。
②自分で医療機関をさがして受診した。
③自分のかかりつけの医療機関で受診した。
④何もせずに軽快した。

SQ6 元に戻るまでどのくらいかかりましたか？

日	週間	ヶ月間
---	----	-----

SQ7 気になった後遺症がありましたか？どのような後遺症だったかご記入ください

()

Q5 自分の皮膚症状とエステティックに関するご意見をお聞かせください。

--

慢性疾患患者に対するアンケート調査票(糖尿病患者)

アンケートのお願い(該当する項目に○印、数字等をご記入ください。)
 ※糖尿病と診断された方対象のアンケートです。別添アンケート調査説明書をお読みのうえでお答えください。

Q0	別添試験説明書の内容を理解したうえで本調査に参加することを同意しますか？					
	1. 同意します。		2. 同意しません。			
Q1	性別	1. 男性	2. 女性	Q2	年齢	才
Q3	糖尿病歴	()年				
Q4	病気の程度	1. 運動食餌療法でコントロールできている。				
		2. 飲み薬でコントロールできている。				
		3. インシュリンの注射でコントロールしている。				
		4. コントロールが出来ていない。				
		5. その他()				
Q5	皮膚に以下にあげるトラブルがありますか(該当するものすべてに○)					
	1. かゆみ	2. 乾燥	3. たこ・うおめ			
	4. ニキビ	5. むくみ	6. その他()			
Q6	糖尿病と診断されてからエステティックの施術(フェイシャル、脱毛、痩身、ボディトリートメント等)を受けたことがありますか？					
	1. ない	→Q7にお進みください。				
	2. ある	→以下の質問にお答えください。				
SQ1	エステティックを受けることを主治医に相談しましたか？					
	1. 相談した			2. 相談しなかった。		
SQ2	エステティックの技術者に糖尿病であることを申告しましたか？					
	1. 申告した			2. 申告しなかった。		
SQ3	エステティック施術を受けたのはいつごろ、どのくらいの期間ですか？					
	1. 現在定期的に施術を受けている。(月 回位)					
	2. 過去施術を受けたことがある。↓					
	年	月頃	ヶ月位			
SQ4	エステティック施術は何を受けましたか？					
	1. フェイシャル	2. 痩身	3. 脱毛			
	4. その他	()				
SQ5	その時にかぶれた等のトラブルがありましたか？					
	1. NO					
	2. YES ↓					
	どんなトラブルでしたか？					
	()					
Q7	安全性が確認されれば定期的にエステティックを受けてみたいと思いますか？					
	1. 思う			2. 思わない		
Q8	エステティックに対するご意見をお聞かせください。					

健全女性対象アンケート調査票

「エステティック施術による身体への危害について原因究明及び衛生管理に関する研究」を行う事となりました。つきましては、皆様にエステティックに関する以下のアンケートにご協力いただきたくお願い申し上げます。なお、今回のアンケートは、お名前、住所等をご記入いただくことはなく、結果も集計し使用させていただきますのでご安心ください。

研究代表者 関東裕美

Q1 性別

男	女
---	---

 Q2 年齢

才

Q3 職種

--

Q4 ご自身の皮膚症状について、あてはまるものに○をお願いします。

①健康 ②皮膚科加療中（疾患名 _____）

Q5 エステティックについてあてはまるものに○をお願いします。

SQ1 エステティックの施術を受けたことがありますか？

①NO
②YES

 Q6にお進みください。
以下の質問にお答えください。

SQ2 受けたことのあるエステティックの施術すべてに○をお願いします。

①フェイシャル	②ハンドマッサージ	③ネイル
④痩身エステ	⑤脱毛	⑥その他（ _____ ）

SQ3 エステティックの施術を受けた時「かぶれた」等のトラブルがありましたか？

①NO
②YES

 Q6にお進みください。
以下の質問にお答えください。

SQ4 どんなトラブルでしたか？あてはまる項目すべてに○をお願いします。

①かぶれ	②やけど	③じんましん
④にきび	⑤シミ	⑥その他（ _____ ）

SQ5 トラブルがあった時の対処はどうしましたか？

①エステティックサロンから医療機関を紹介されて受診した。
②自分で医療機関をさがして受診した。
③自分のかかりつけの医療機関で受診した。
④何もせずに軽快した。

SQ6 元に戻るまでどのくらいかかりましたか？

日	週間	ヶ月間
---	----	-----

SQ7 気になった後遺症がありましたか？どのような後遺症だったかご記入ください

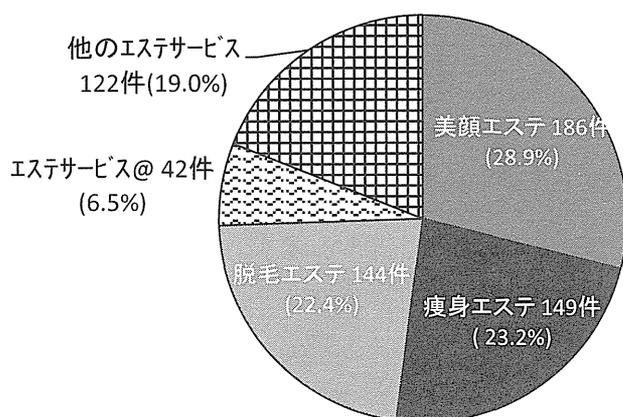
（ _____ ）

Q6 自分の皮膚症状とエステティックに関するご意見をお聞かせください。

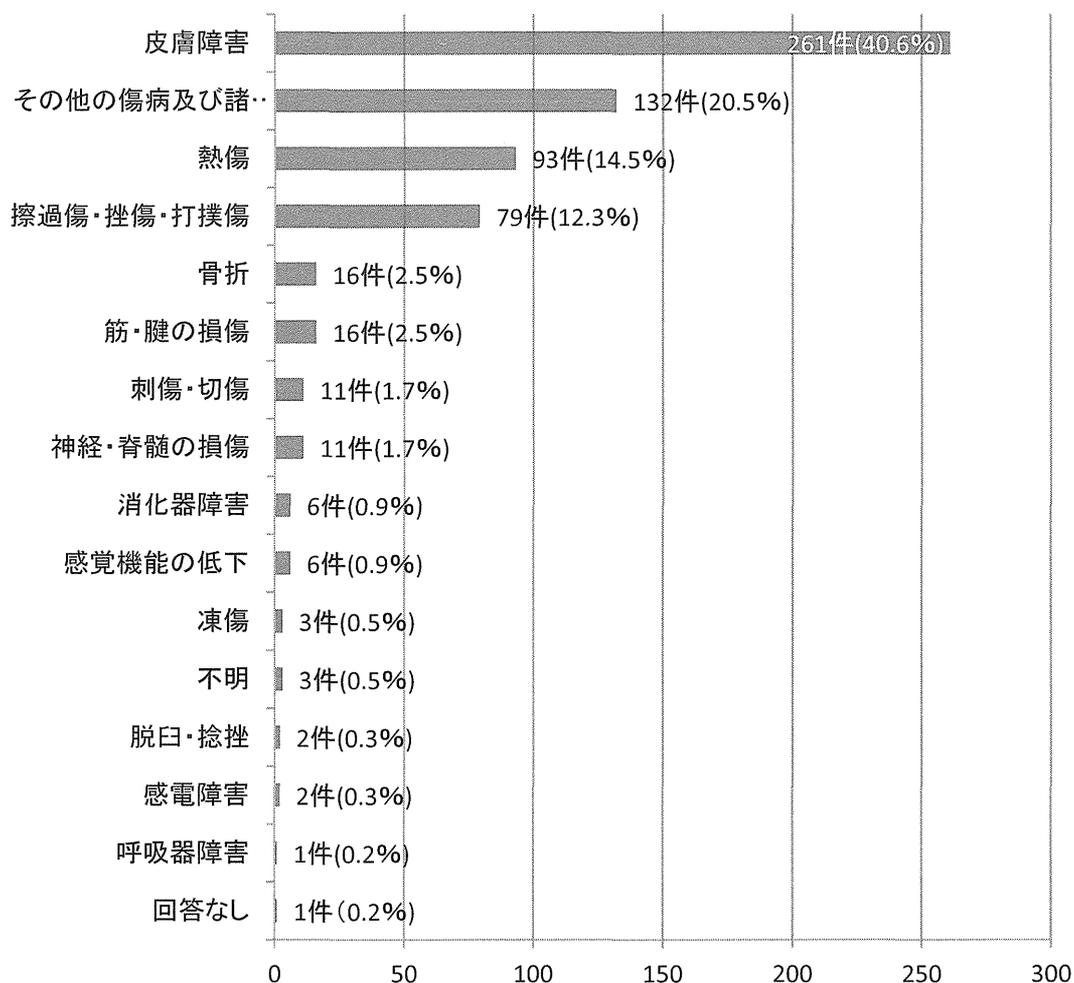
--

「エステティックカテゴリー」危害情報 集計結果

商品キーワード(n=643件) グラフ1

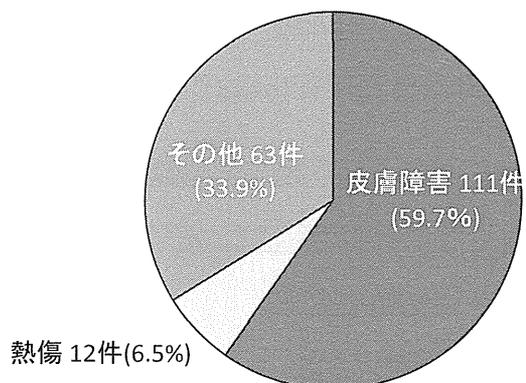


危害の内容(n=643件) グラフ2

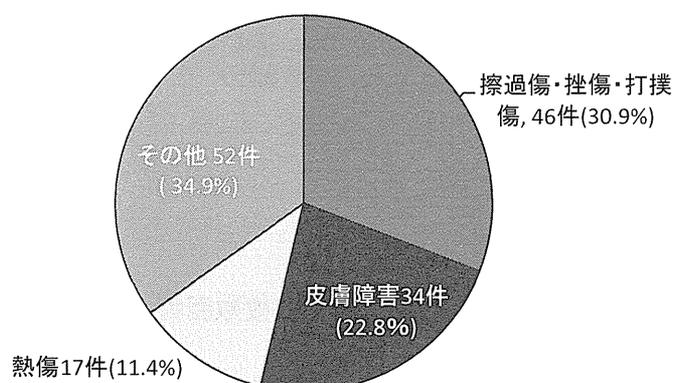


商品キーワード別 危害の内容 グラフ3

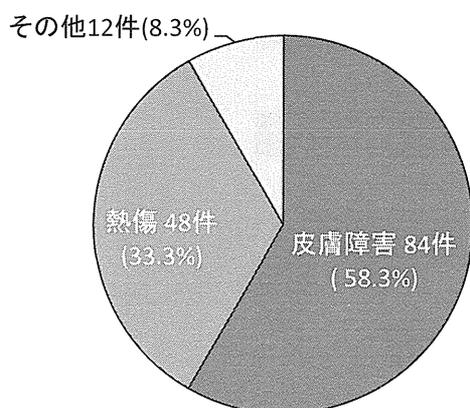
美顔エステ危害内容(n=186件)



痩身エステ危害内容(n=149件)



脱毛エステ危害内容(n=144件)



慢性疾患患者に対するアンケート調査結果(アトピー性皮膚炎患者)

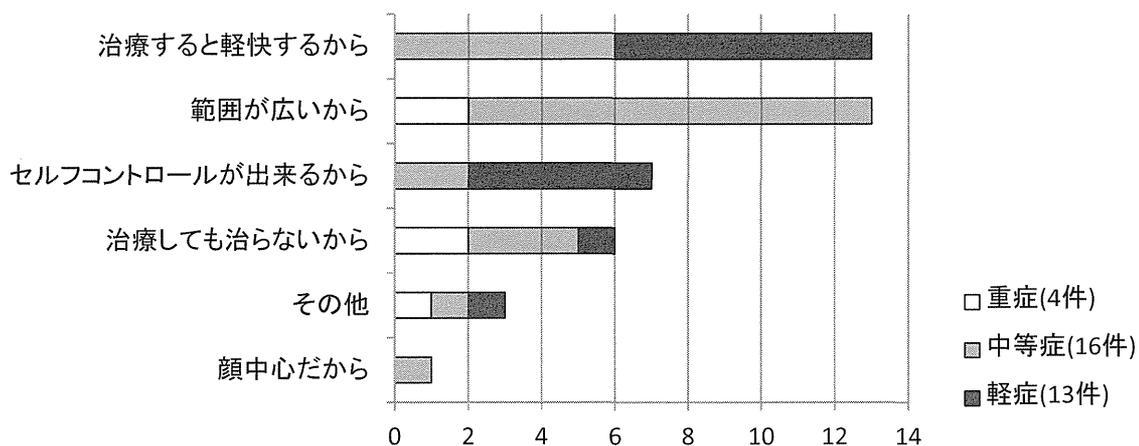
回収総数	33名
女性	27名
男性	6名

年齢層	平均年齢	36.2歳
	10歳代	1名
	20歳代	4名
	30歳代	20名
	40歳代	6名
	50歳代	2名

エステティックの経験

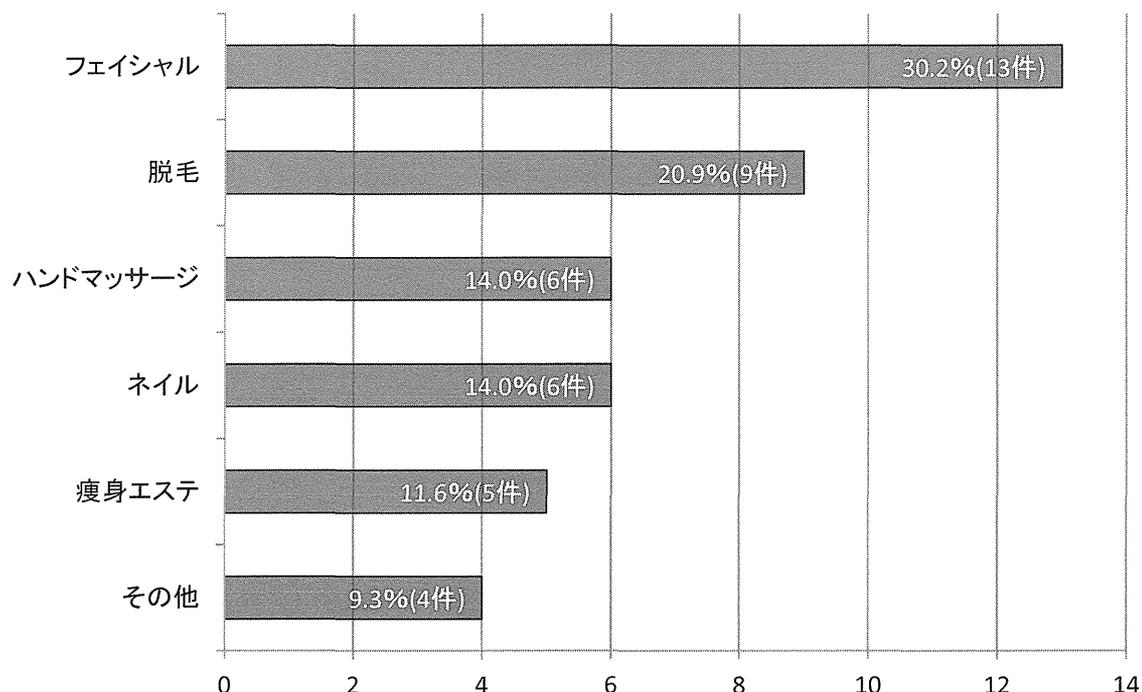
あり	18件	54.5%
なし	15件	45.5%

アトピー性皮膚炎自己評価(n=33件 複数回答)

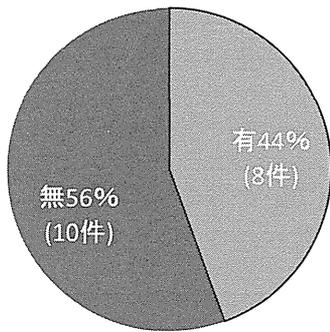


	顔中心だから	その他	治療しても治らないから	セルフコントロールが出来るから	範囲が広いから	治療すると軽快するから
重症(4件)	0	1	2	0	2	0
中等症(16件)	1	1	3	2	11	6
軽症(13件)	0	1	1	5	0	7

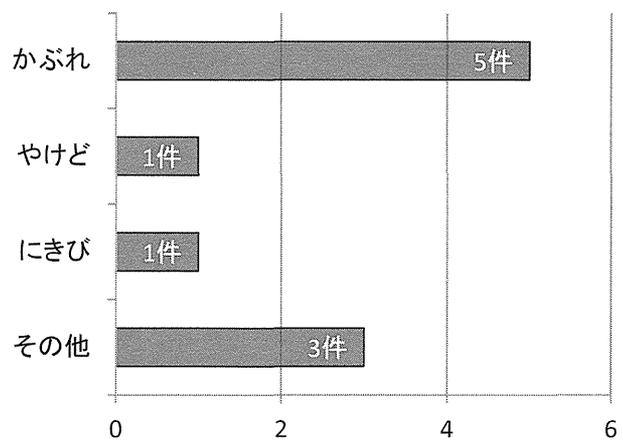
経験した施術の内訳(複数回答 n=43件)



施術による皮膚トラブル経験
(n=18件)



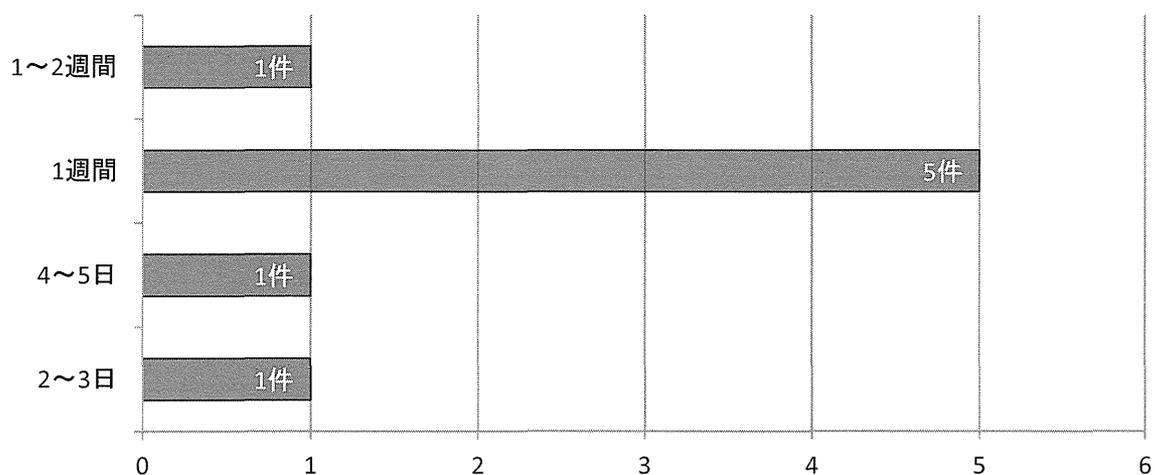
皮膚トラブルの内訳(複数回答n=9件)



トラブルがあった時の対処法(n=8件)



治癒するまでの期間(n=8件)



慢性疾患患者に対するアンケート調査結果(アトピー性皮膚炎患者)

フリーコメント

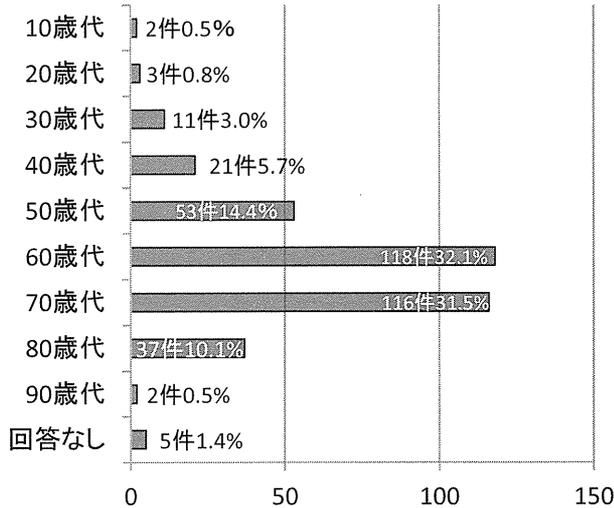
<p>・アルコール系が入っているものなどあわないとかゆくなります。薬も飲んでいるので1週間で体の方はなおります。顔は別。</p>
<p>・フェイシャルエステは年に1、2度受ける程度ですが、まつ毛パーマはよく美容室でかけます。リスクがあるのは知っていますが、メイクが楽になるので、つついかけてしまいます。</p>
<p>・肌の状況がくわしく聞けたので良かったです</p>
<p>・顔に症状がでにくいのでエステ時にはあまり困ることがない。首元などがあれている時はさけるなどきちんと対応してもらっている</p>
<p>・今までエステティックの施術を受けたことがない為よくわからないのですが、効果の根拠等はしっかり確認したほうが良いと思います。</p>
<p>・今のところ必要としていないので行こうと思った事がないです。</p>
<p>・ひどい時は絶対受けたくないので、最近難しいし何かあると怖いのであまり興味はない。</p>
<p>・精神科の薬の副作用で、にきび、ふきでもの等の症状があります。エステのトラブルはTV等で耳にしますが、高級だし自分に合ってなくて肌に一生残る様なトラブルでは済まされない事があると他人事とは思えません。</p>
<p>・自分の症状では病院以外で治療しようとは思いませんでした。いままでエステティック施術を受けたことはないです。</p>
<p>・危ない時もあったと思います。都度都度施術する方ときっちり話をして施術してなければ、私もやけどetcあったと思うと怖いです。現在はリラクゼーション目的のみで通っていますが、やはりその日その日の体調をしっかり聞いてくれるサロン以外での施術はこわいの一言です。中国、韓国の方々がやっているサロンには絶対行ってはダメだと思います。</p>
<p>・器具や薬品的なものをを用いることには不安を感じます。</p>
<p>・ゼリーなど何が入っているか不明なので少し不安</p>
<p>・皮ふ状態が良い時に信頼できるサロンで施術するとリラックスでき明るい気分になります。トラブル防止のためにも自分の症状を正しく伝えられるようにしています。サロン側の知識と理解状況により、改善されることを期待します。</p>
<p>・アトピーについては医療機関のみを今後も利用する予定です。</p>
<p>・パーマ液でかぶれたことがあるからまつげエクステ等は興味があっても、できない。エステに行ったら皮膚に異常が出たら嫌だ。又、こわいと思う。</p>
<p>・そんなに症状は強くないので、エステなども利用しますがトラブルを抱えている分施術後は少し不安がある時もあります。できるだけ、皮ふ科で行えるものは専門医に診てもらえると安心です。</p>
<p>・皮ふ症状が悪化する可能性を考えるとエステティックを受けることはないと思う。</p>
<p>・エステ体験してみたい気もするが。皮ふ状態が良くないため諦めている。</p>

慢性疾患患者に対するアンケート調査結果(糖尿病患者)

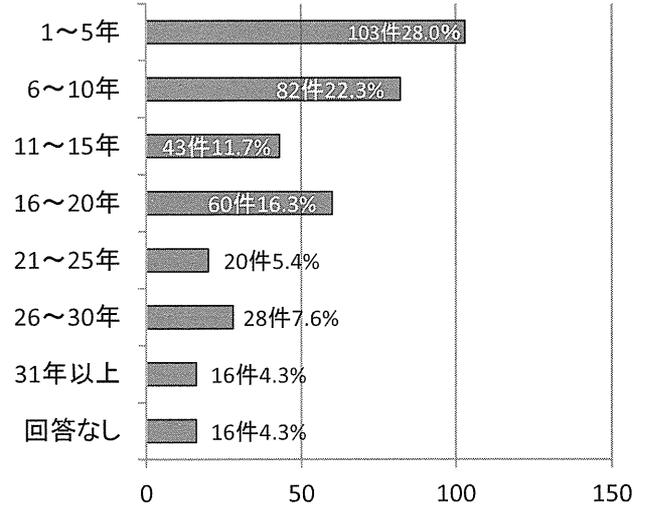
回収総数	368
1. 男性	136
2. 女性	231
3. 未回答	1

エステティックの経験	1 ない	333
	2 ある	34
	3 未回答	1
		368

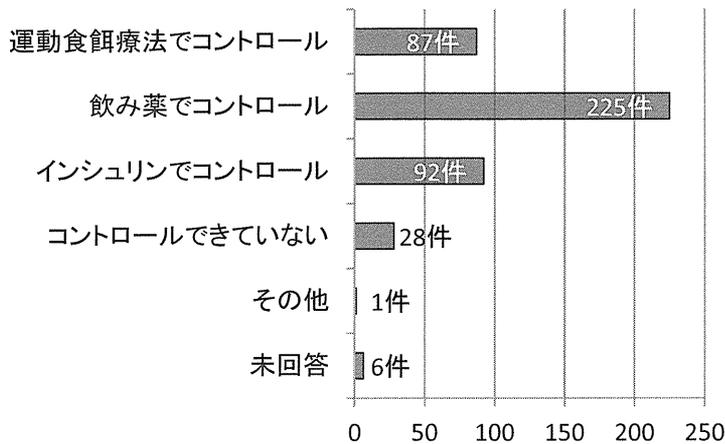
回答者の年齢層(n=368件)



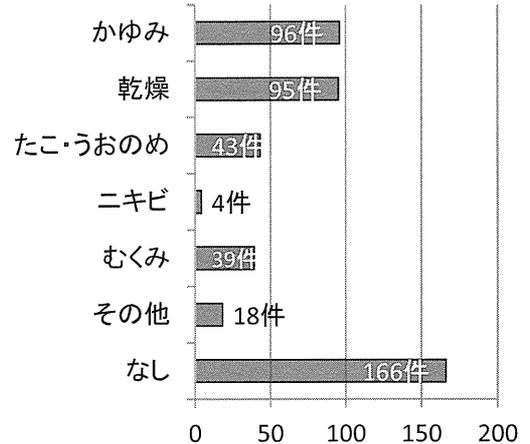
回答者の糖尿病歴(n=368件)



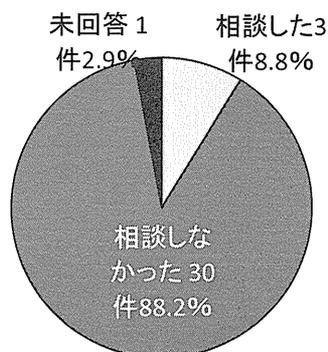
糖尿病の程度(n=368件)複数回答



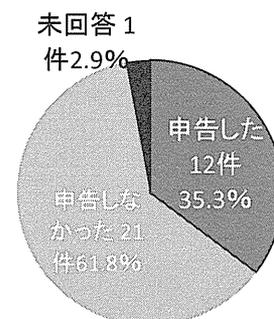
皮膚トラブル(n=368)複数回答



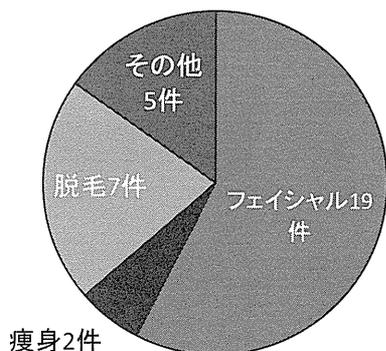
エステティックを受ける前に主治医に相談(n=34件)



エステティック技術者への糖尿病であることの申告(n=34件)



受けた施術の種類(n=34件)複数回答



皮膚トラブルの有無

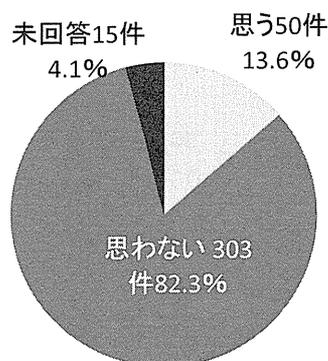
無	30
有	4



皮膚トラブルの内容

・赤くはれた
・かゆみ
・はれ
・顔が赤くなり痛くなった

糖尿病患者に対する安全性が確認されたら定期的に受けてみたいと思うかどうか(n=368件)

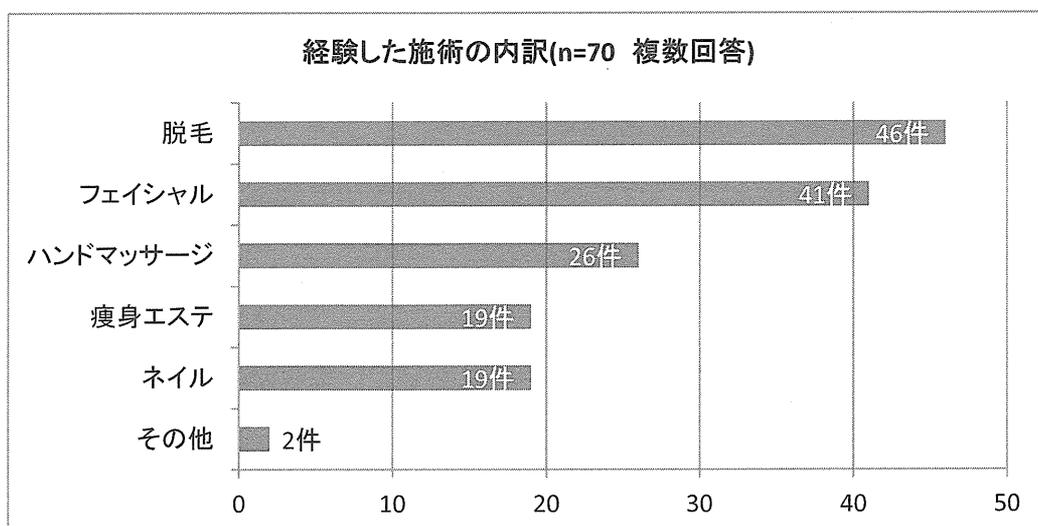
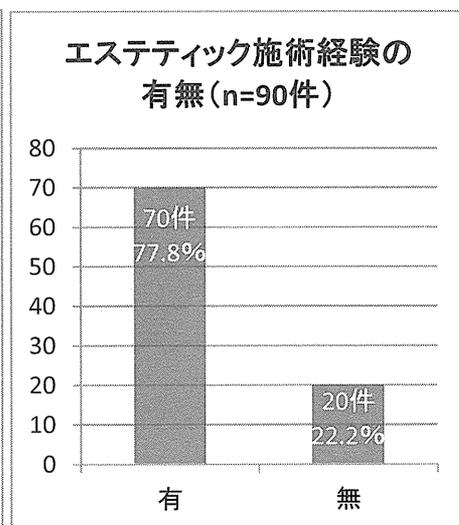
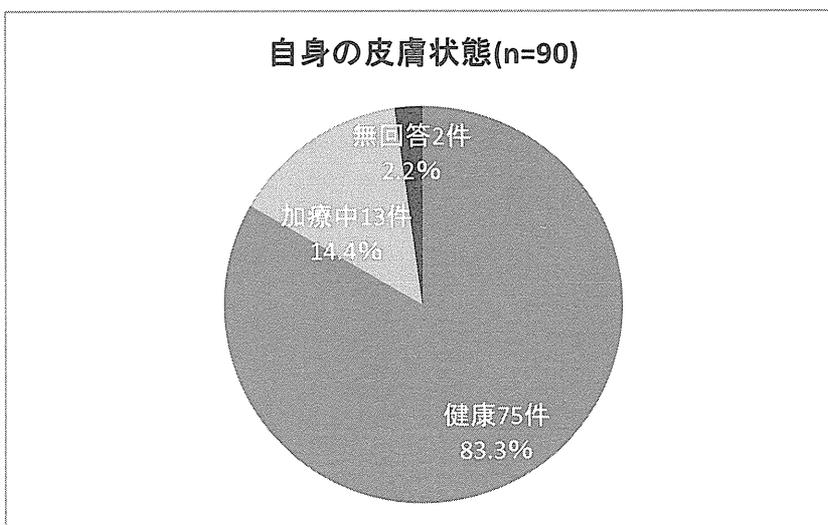
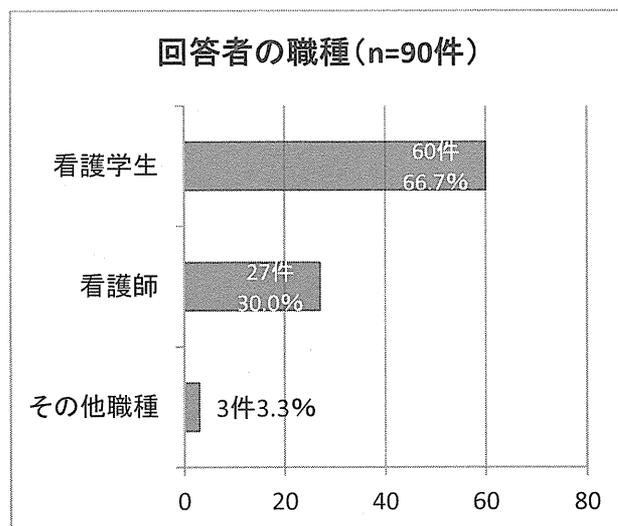
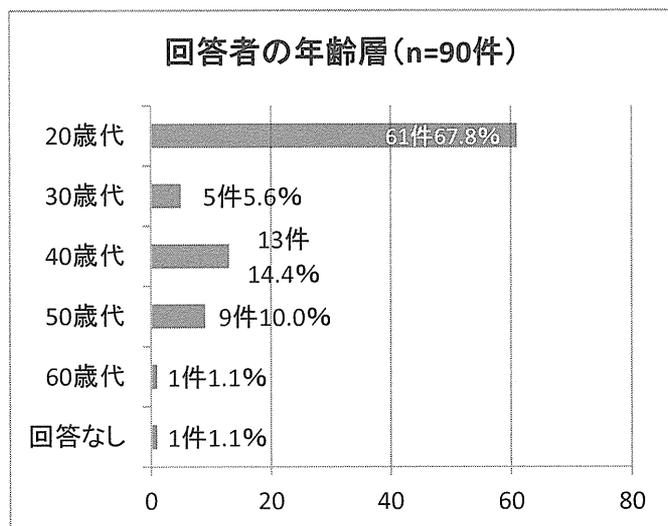


フリーコメント

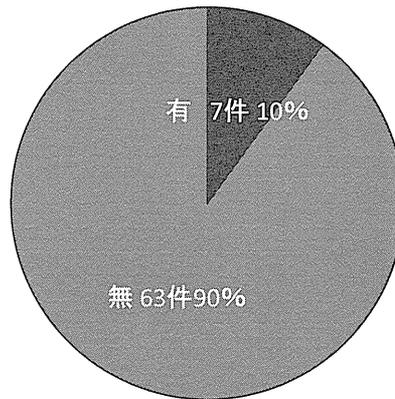
・受けられる環境にない	・高額なので必要ないと思う
・美白のエステを試してみたい	・エステにお金をかけるつもりはない
・エステを受けたことはないけれど薬局で売られているお家でエステっぽいのできるやつ(蒸気で目の疲れを取る)でも、糖尿病患者の使用は控えるようにと書かれているのは仕方ないかもしれないけれど悲しい。	・サウナスーツを着たり色々なジェルを塗ったりしても食事管理が出来なければ無理だと痛感しました。自分の意識の問題で他力では無理だと結論。
・シミ、シワを予防したい	・もっと若い時ならと思います
・時間が無いので行けない事が多いと思う。むくみや乾燥を改善出来たら良いかなと思う。	・もっと若い頃は興味があったが今の年では考えたことがない。
・腰痛、肩こりの解消及びリラックス効果があるので従来のマッサージよりエステのオイルマッサージが好きです。	・心身のリラックスの為にもし受けたいと思います。
・受けるのはリラックス出来て満足感があります。しかし金銭のかかる事も多く、化粧品を買うよう勧められる等、私の場合はそれが負担になりました。	・もっと若い頃は興味があったが今の年では考えたことがない。
・高額ではない優良な痩身の手伝いをしてくれるところがあれば通ってみたい	・ボディトリートメントを受けたいです。(たるみ、顔、腹)
・エステは高いから受けたいと思いません	・エステに興味がありません
・エステを受けて被害が出るとは考えてもいなかったため、自分が受けるときはきちんと相談しないとだめと知りました。	・年だからやりたくない。若ければやりたい。
・値段が高いところと安いところとありそう	・具体的イメージがわからない
	・気分のよいエステティックがあれば

健常女性に対するアンケート調査結果

回収総数 90件 (全て女性)



施術による皮膚トラブルの経験(n=70件)

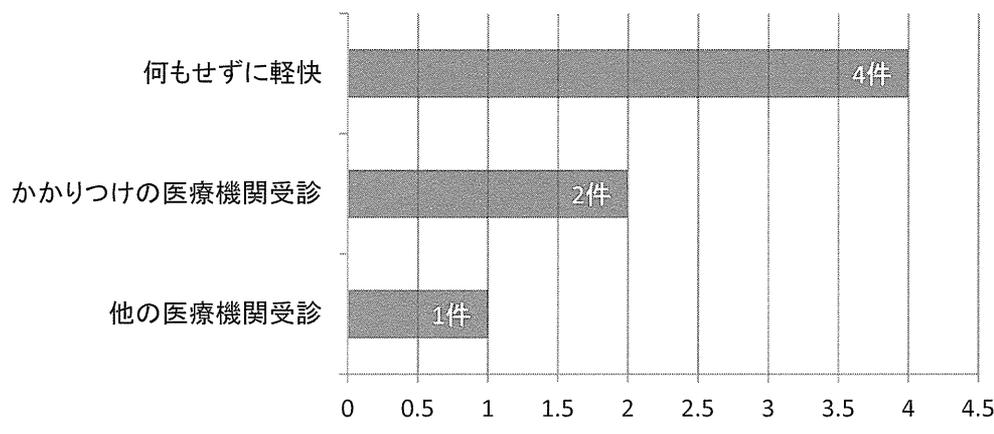


皮膚トラブル内訳

※複数回答

かぶれ	3件
じんましん	2件
やけど	1件
シミ	1件
その他	3件

トラブルのあった時の対処法(n=7件)



フリーコメント

- ・エステはやりません。お金かかるし、家でできます。しかも、余計に速く老化するときいています。良くないと思いま
- ・敏感肌であるけれど、今の所問題はないです
- ・アトピー性皮膚炎などの皮膚疾患をもつ人でも気軽に受けられるエステがあればいいと思う。
- ・背中のにきびがどうしてもなおらない。
- ・脱毛に関してエステの方がクリニックよりやすいし、いろんな所にあるので行きやすい。トラブルがあるのは知ってるけど、リスクを伴ってでも安くすませたい。
- ・にきびができてやすい。年齢をかさねることで治癒経過が遅くなってるとし、治りにくくなってると感じる。
- ・やけどの跡がなかなか消えなくて、ほうっておいたら治るものなのか分かりません
- ・にきびがあるが、生活習慣で改善しようと思ひ、エステなどには行こうとおもわない。
- ・そもそもエステティックが何か分かりません。。すみません。。
- ・乾燥肌で困っています。時間があればエステティックできれいになりたいです。
- ・一時的な発赤はありましたが、生じるものなのだと思っていました。
- ・ケロイド体質と記載すると断られるケースが多いです
- ・皮フトラブルなければエステよいと思います
- ・フェイシャルは20才代の時に定期的に受けていた。現在、慢性湿疹もあり加療中であることから、皮ふトラブルがおこるのではないかと不安があり、ほとんど行っていない。
- ・敏感肌のため化粧品でもメーカーによってはかぶれるため、それに施術が加わるため、かぶれの程度も普段の時のかぶれよりもひどくなる気がします
- ・ローション等すべて高額だ効果はあるのかないのか疑問を感じる。
- ・リンパマッサージはとても気持ち良く1回/Mは行ってます。私の健康法です。
- ・今まで化粧品トラブル等がなく、トラブルに対する不安を感じたことはありません。高い値段を払うのでむしろ安全だと思ってしまうです。
- ・ハンドマッサージは指圧で気持ちよく、皮膚の血行がよくなったように思います

厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)
エステティックの施術による身体への危害についての原因究明及び衛生管理に関する研究
平成 27 年度 分担研究報告書

2 エステティック施設の衛生管理の徹底

研究代表者 関東 裕美 公益財団法人日本エステティック研究財団
研究分担者 館田 一博 東邦大学医学部微生物・感染症学講座
研究協力者 吉住あゆみ 東邦大学医学部微生物・感染症学講座

研究要旨

エステティック施設における衛生環境および技術者の手指衛生に関する法的規制はない。しかし、これまでにエステティック施術後に感染が起きた事例³⁾⁴⁾もある事から、直接顧客の皮膚に触れる装置や手指衛生には十分な注意が必要である。

今年度は、技術者の施術前後の手指細菌調査及びエステティック技術者養成施設における衛生管理教育の実状についてヒアリング、アンケート調査を行った。施術前後の手指細菌調査においては、施術者の熟練度の差(実務経験 20 年以上の技術者と 1 年未満の技術者)で細菌伝搬に差があるかについて検証した。

その結果、施術後の施術者の手指に被験者保菌のメシチリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)が伝播していることが分かった。技術者の熟練度の差による細菌伝播の有意差はなかった。衛生管理教育の実状は、医師など専門講師による教育ができない、予算などの関係で十分な衛生管理実習ができないなどの課題が提起され、より情報の収集を行うとともに、課題の解消を今後の検討課題とした。

A 研究目的

エステティックサービスは、皮膚に直接素手で触れるサービスを提供していることから施設の衛生管理の徹底が求められている。本研究においては、営業施設での衛生管理を営業実態に即して徹底できる方策を検討し、営業施設の衛生環境の向上を目的としている。

このテーマについては、公益財団法人日本エステティック研究財団が「エステティックの衛生基準」¹⁾を策定、また、平成 22

年度～平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金「エステティックにおけるフェイシャルスキンケア技術の実態把握及び身体への影響についての調査研究」²⁾において、簡単に必要最低限の衛生管理が行える「衛生管理ツール」を作成し、エステティックサービスを提供する施設に配布した。

また、これまでの調査で、エステティックサロン環境から病巣や病院内で検出される細菌が各種環境から検出された施設がみられ、施設内各環境で菌種が同一であった

ことから、汚染された一つの雑巾での複数環境の清掃やタオルの汚染が原因であることが考えられた。また、技術者の手洗い消毒が不十分なケースもあり、施術による施術者から顧客への伝播や顧客から施術者への伝播が危惧された。今年度の研究では、引き続き施術による被施術者から施術者及び施術用機器への細菌類の伝播について調査、技術者養成施設における衛生管理教育の問題点の抽出などについて検討した。

B 研究方法

1. フェイシャルスキンケアの皮膚に対する影響試験

●施術者の手指細菌調査

- 1) 実施時期 平成27年12月4日
平成27年12月18日
- 2) 実施場所 一般社団法人日本エステティック協会研修室
- 3) 被験者 10名(20歳代5名 50歳代5名)
- 4) 対象施術 フェイシャルスキンケア
- 5) 試験方法

①施術直前及び施術直後について、施術者のハンドスタンプ(栄研化学ハンドペタンチェックⅡ(SCD-LP培地))を採取する。

②37℃一昼夜培養後、生育した細菌数をチェックし、同定試験を行う。

●被験者の顔面皮膚の細菌検査

- 1) 実施時期 平成27年12月4日
平成27年12月18日
- 2) 実施場所 一般社団法人日本エステティック協会研修室
- 3) 被験者 10名(20歳代5名 50歳代5名)
- 4) 対象施術 フェイシャルスキンケア

5) 試験方法

①施術直前及び施術直後について、被験者の顔面皮膚を滅菌綿棒で拭う。具体的には滅菌綿棒を滅菌生理食塩水に浸し顔面(額、鼻筋、頬、あご)を拭う。

②拭った綿棒を1mlの生理食塩水に溶解した後、100ulずつMRSA培地、血液寒天培地に塗布する。37℃一昼夜培養後、生育した細菌数をチェックし、同定試験を行う。被験者から施術者の手指への最近の伝播を特定するためのパルスフィールド電気泳動法で株が同一かどうか確認をした。

●ヒートマットで施術した際の被験者からの機器への細菌類の伝播

- 1) 実施時期 平成27年12月4日
平成27年12月18日
- 2) 実施場所 一般社団法人日本エステティック協会研修室
- 3) 被験者 10名(20歳代5名 50歳代5名)
- 4) 対象施術 ヒートマット(温熱機器)
- 5) 試験方法

①施術前、後について被験者の下腿及び瘦身機器を拭いサンプルを採取する。具体的には、滅菌綿棒を滅菌生理食塩水に浸し被験者の下腿及び機器表面を拭う。

②拭った綿棒を1mlの生理食塩水に溶解した後、100ulずつMRSA培地、血液寒天培地に塗布する。37℃一昼夜培養後、生育した細菌数をチェックして同定試験を行う。

2. 技術者養成施設における衛生管理教育に

関する実情についてのアンケート調査

- 1)実施時期 平成 28 年 1 月～3 月
- 2)調査対象 一般社団法人日本エステティック協会及び一般社団法人日本エステティック業協会認定校 計 178 校
- 3)調査方法 調査票を送付し、記入後の返送を依頼した。

(P 4 0 アンケート票参照)

3. 技術者養成施設教員に対する聞き取り調査

- 1)実施時期 平成 28 年 3 月
- 2)調査対象 東京・名古屋周辺の養成施設 7 校 9 名の教員
- 3)調査方法 面談

C 研究結果

1. フェイシャルスキンケアの皮膚に対する影響試験

●施術者の手指細菌調査

(結果詳細は P 4 6 ～P 4 7 参照)

施術は、技術者 2 名 施術者 1 が被験者 1, 3, 5 施術者 2 が被験者 2, 4 を担当した。施術前の手指細菌数は、10 例平均で 17.1 個と手洗い消毒に問題はなかった。施術後施術者手指の菌数は、10 例すべてで増加していた。10 例の施術後の菌数増加は、平均約 14.2 倍だった。10 例のうち 8 例からメシチリン感受性黄色ブドウ球菌(MSSA)が検出され、院内感染の原因となるメシチリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) が施術後の手指から 1 例検出された。

●被験者の顔面皮膚の細菌検査

(結果詳細は P 4 8 ①～⑤P 4 9 ①～⑤参照)

被験者から検出された菌のほとんどは CNS であった。少量ではあるがとびひなどの原因となる黄色ブドウ球菌が検出された。

被験者 5 (12 月 4 日) では施術後の鼻およびあごから院内感染の原因となる MRSA が検出された。施術前の被験者顔面および施術者から検出されていないことから、被験者の鼻腔に存在しているものが顔面皮膚に付着した可能性も示唆された。

●被験者顔面皮膚から施術者手指への細菌の伝播について(結果詳細 P 4 8 ⑥～⑧)

いままでの研究においても被験者から施術者手指への細菌類の伝播の可能性が高いと思われる結果が出ていた。今回の調査では、パルスフィールド電気泳動法を利用して被験者顔面皮膚の細菌と施術者手指から検出された細菌が同一の株かどうか確認した。その結果、被験者 5(12 月 4 日)の顔面より分離された MRSA と施術者 1 の手指から分離された MRSA は同一株だった。

●ヒートマットで施術した際の被験者からの機器への細菌類の伝播

(結果詳細 P 5 0)

被験者 10 名のうち 1 名で、下腿および機器から CNS および腸内細菌が疑われる菌が検出された。このことから、被験者の下腿からの菌が施術後の機器表面に付着したと考えられた。

腸内細菌に関してはその他の被験者では検出されていないことから、本被験者由来のものと考えられる。

2. 技術者養成施設における衛生管理教育に

関する実情についてのアンケート調査

(結果詳細は P 4 1 参照)

エステティックの技術者養成施設に衛生管理教育の問題点についてアンケートを行ったところ、66 件の回答を得た。回答したスクールは、理美容学校が一番多く、32 件 (48.5%) だった。衛生管理教育は、医師、獣医師、看護師、薬剤師の資格を持つ講師が 10 件だった。

衛生管理教育の問題点としては、「消毒薬や機材が不足していて衛生管理の実践が正しく行えない。」が 17 件 「施術の流れの中で衛生消毒が教えにくい。」16 件だった。

3. 技術者養成施設教員に対する聞き取り調査

エステティック技術者の教育は、エステティック業界が自主的に基準を策定し、養成施設で教育を行っている。一定以上の教育を修得した技術者に民間資格を付与している。衛生管理教育の問題点を抽出して解決することにより、さらに教育を充実させることを目的としてヒアリングを行った。

その結果、医師など専門講師による教育ができない、予算などの関係で十分な衛生管理実習ができないなどに加え、10 年前に比べて生徒のメンタルが弱い、自分で考えて問題解決するなど考える力が弱いなど生徒の質が変化してきており、養成施設側としても生徒のケアや教え方を変化せざるを得ない。また、養成施設できちんと衛生管理を教育しても、エステティック施設に実習に行くと衛生管理がないがしろにされていて生徒が混乱するなど教育の場と営業の現場のギャップがあるなど問題点が抽出された。

5. 啓発資料の作成(詳細は P 5 7 参照)

養成施設講師のヒアリングにおいて施術後の技術者の手洗いの教育が徹底されていない実態が把握されたことから、いままで収集したデータを活用して手洗い啓発用資料を試作した。今後、養成施設やエステティック施設の意見を反映して改善を行っていく。

D 考察

昨年度と同様技術者の手を介した細菌類の伝播について調査を行った。今年度は、施術者の熟練度による差(実務経験 20 年以上の技術者と 1 年未満の技術者)で比較検討したところ、感染媒介という点では有意な差は見られなかった。また、被験者から技術者の手指への細菌類の伝播を確実に測定するためにパルスフィールド電気泳動法を利用して被験者と技術者の手指から検出された菌が同一の株であることを確認した。

パルスフィールド電気泳動法とは、被験菌株の DNA を抽出し、その DNA を制限酵素で抽出し電気泳動(二次元)をする。制限酵素は DNA のある特定の配列を認識して切断するので、同一株であれば同一の電気泳動パターンを示し、異なる株であれば異なる電気泳動パターンを示す。これは同じ菌種であっても異なる「株」であれば異なるパターンになる。

今回は、被験者の一人からメシチリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)が検出され、施術者の施術後の手指からも同一の菌が検出された。被験者が持つ病原性の高い細菌の伝播を防ぐために、施術後の手洗いの重要

性が高いと考えている。しかし、養成施設のヒアリングにおいて施術前の手洗いほど教育が徹底されていないことが分かり、今後の課題とした。

技術者養成施設の衛生管理教育においては、営業施設と教育内容のギャップ、施術の流れの中での衛生管理、細菌類がなくなる実感がなく徹底するのが難しい、講師の質にばらつきがある、実際の営業施設で衛生管理が徹底されていないなどの課題が抽出され、教育現場と営業施設双方の意識改革が必要と考えた。

E 結論

エステティック施設は、健康な人を対象に施術を提供する施設であり、ノンクリティカルに分類されているが、エステティック施設において感染によりアトピー性皮膚炎が重症化した例³⁾が報告されるなど、直接顧客の肌に触れる装置や手指衛生には十分な注意が必要であると考えられる。

これまでの調査で、営業施設内の衛生管理に関する問題点を抽出したが、今年度は、被施術者から施術者の手指への細菌類の伝播について、確実に伝播が起きていることが確認でき、施術後の施術者の手洗い消毒を徹底するために、教育と営業の現場で活用しやすいツールを現場の意見を取り入れながら作成していきたい。

また、養成施設における課題をさらに多くの講師からヒアリングし、問題点が全体のものであるかどうか確認していきたい。

そのうえで、生徒の理解度を向上させるためにビジュアルを重視した補助教材の開発を検討していく。

さらに、営業施設での衛生管理も感染症に関する啓発を通じて徹底する方法について検討する。

F 健康危険情報

なし

G 研究発表

1 論文発表

なし

2 学会発表

なし

H 知的財産権の出願・登録状況

なし

参考文献

- 1) エステティックの衛生基準 公益財団法人日本エステティック研究財団 2009
- 2) 「エステティックにおけるフェイシャルスキンケア技術の実態把握及び身体への影響についての調査研究」大原國章他 平成 22 年度~平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理総合研究事業)
- 3) 篠田勲 皮膚臨床 39(4) : 615-618 1997
- 4) Huijsdens et al. Emerging Infectious Disease 14:1797-1799.2008

養成施設における衛生管理教育に関するアンケート調査ご協力のお願い

ご記入者名

ご連絡先 tel

mail

厚生労働科学研究費において、エステティックサロンの衛生環境の向上に向け調査研究を行っています。昨年度までの研究において、多くのエステティックサロンにご協力いただき、衛生管理を漏れなく行うための行うチェックリストやサロン内でのリスク、技術者の手洗いの問題点などを指摘するツールの作成公表を行ってまいりました。今年度からの研究では、エステティックの技術者養成施設における衛生管理教育の利便性を高めるために、現状のエステティックの衛生基準の改善や補助教材の作成などを検討しております。つきましては、教育の現場のご意見をお聞かせいただきたくお忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力お願い申し上げます。

エステティックの施術による身体への危害についての原因究明及び衛生管理に関する研究班

研究代表者 関東裕美 公益財団法人日本エステティック研究財団理事長
東邦大学医療センター大森病院皮膚科 教授

1. スクールの概要 について

● 女子生徒	名	男子生徒	名			
● 生徒の年齢層	平均	才(おおよそでOKです。)				
● スクールの所在地	都道府県				市町村	
● スクールの種類	①理美容学校	②医療系専門学校	③ビジネス系専門学校	④高等学校	⑤短期大学	
	⑥4年制大学	⑦学校法人ではないスクール	⑧その他	()		

2. 衛生管理教育の方法(該当する項目に○をお願いします。各項目○は一つ)

● 衛生管理教育の講師	①常勤	②非常勤				
● 座学の講師が所有する資格	①医師	②獣医師	③看護師	④薬剤師	⑤鍼灸師	⑥理美容師
	⑦日本エステティック協会発行の資格(認定講師等)			⑧その他	()	

3. 衛生管理教育の問題点(該当する項目にすべて○をしてください。)

①	わかりやすい説明がうまくできずテキストの朗読になってしまう。
②	消毒薬や器材が不足していて衛生管理の実践が正しく行えない。例えば、学校では消毒剤1種類につき、1商品しか使用できない。サロンで別の商品を使われることがある。
③	生徒からの質問にうまく答えられないことがある。
④	施術の流れの中での衛生消毒が教えにくい。学校とサロンでは環境や設備が異なりケーススタディが伝わりにくい。
⑤	理論がサロン現場に即していない。サロンの業務の中で、どの場面でどんな衛生消毒が必要なのか分かりにくい。学校では、別途パワーポイントなどわかりやすい資料を作成している。
⑥	何度説明しても理解されないことがある。例えば、掃除のやり方を知らない生徒に、「きちんと掃除をしましょう」と言っても理解されない。
⑦	技術の講師と座学の講師でうまく連携が取れず内容が違ってしまう。
⑧	衛生基準については、サロン内での役割別に必要な衛生管理が分かるとよい。例)オーナーに必要なこと=施設の管理、スタッフに必要なこと=基本的な衛生消毒 など
⑨	手洗いを含めた衛生管理の実践がうまくできているかの判断が難しい。
⑩	生徒の消毒薬による手荒れに悩んでいる
⑪	その他 ()

4. 衛生管理教育を行う際あったら便利と思うツール類をご記入ください。

専門家による感染症に関する解説DVD、手洗い前後の細菌繁殖状況の写真など具体的をお願いします。

--

5. その他、衛生管理教育に関する疑問やご意見がございましたらご自由にお書きください。

--

※ご協力ありがとうございました。ご不明な点は03-3501-5721研究財団事務局までお願いします。